

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

## 1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	日本海倉庫株式会社倉庫増築 中央区 竜が島1丁目4920-9の一部他9筆 準工業地域, 準防火 工場, 2010年10月 予定 5,801.18 m <sup>2</sup> 2,327.37 m <sup>2</sup> 4,588.26 m <sup>2</sup> 地上2F S造 実施設計段階評価 2010年5月31日	<p>西側立面図 S=1:300</p>
---	--	----------------------

## 2. CASBEE新潟の評価結果

<p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{41}{33} = 1.2$
--	----	--

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	コード	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	Q2.1.1.3	-
			維持管理	Q2.1.3	3.0
			更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.6		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	-
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	LR2.1.1	-
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

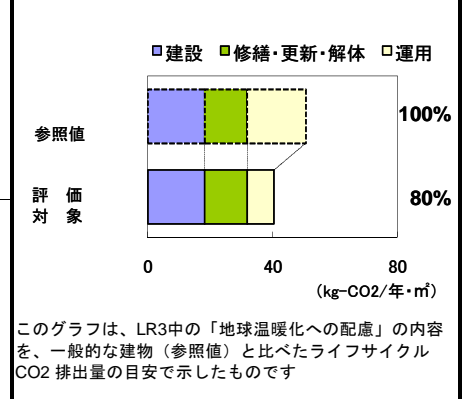
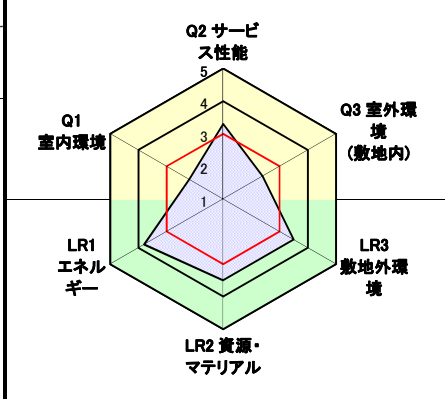
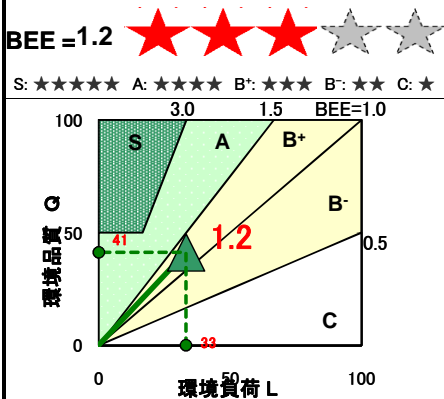
## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。  
 外壁・屋根にガルバリウム鋼板を使用し、塩害に配慮した。

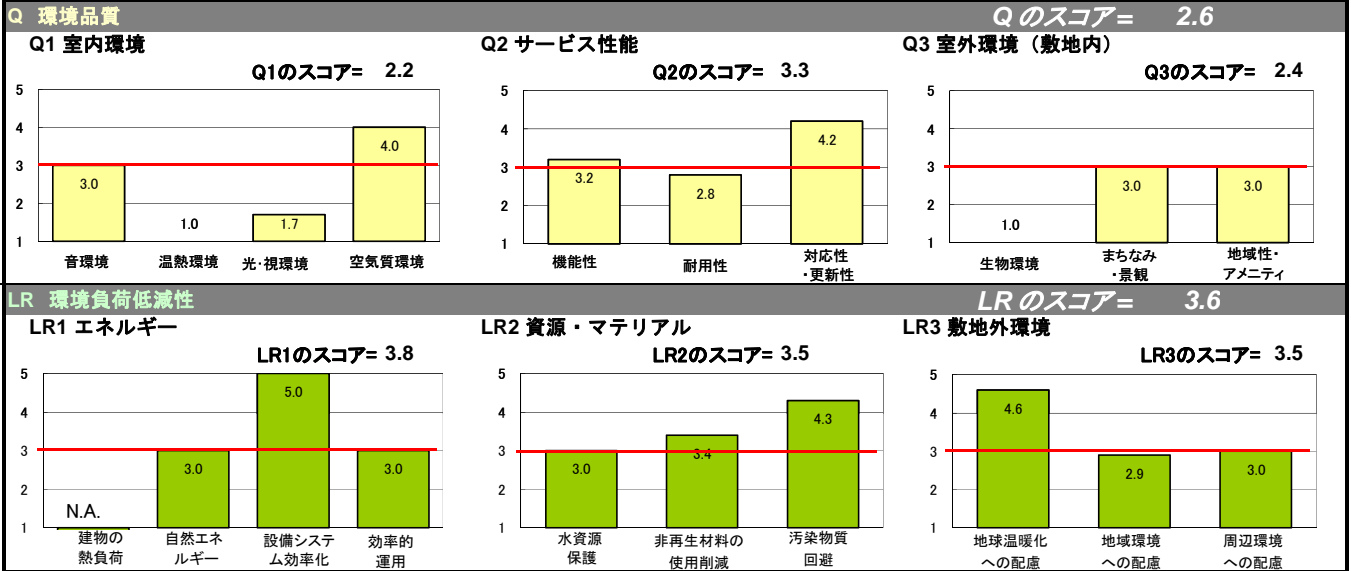
# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果内訳 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟 (v.1.1)

**2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)** | **2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)**



**2-4 中項目の評価 (バーチャート)**



**2-5 設計上の配慮事項**

総合	その他	
倉庫業 (一類倉庫) の規定による。		
<b>Q1 室内環境</b> 倉庫のため特になし。	<b>Q2 サービス性能</b> 倉庫のため特になし。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> 特になし。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 規制対象外品を使用。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特になし。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される